

# 授業科目 視覚機能学実習 II

【担当教員名】 江崎 秀子 他		対象学年	2	対象学科	視機
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	3	時間数	90
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		○		◎	
【概要・一般目標：GI0】 眼科検査の特質である心理物理的な側面を理解し、眼科臨床において診断の基礎となる検査データを導き出す技術を得得する。主に視覚の統合系および出力検査である眼位・眼球運動検査、色覚、両眼視検査等から視機能評価法を理解修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1-5 6-10 11-15 16-18 19-21 22-25 26-30 31 32-33 34-36 37-41 42-45	視力検査 視野検査 屈折検査 調節検査 両眼視機能検査 斜視検査 眼位検査 眼圧検査・超音波検査 角膜内皮検査 コントラスト感度検査 フリッカー検査、眼底写真撮影検査 まとめ、復習				
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	視能学第2版	丸尾敏夫	文光堂	2011・18,900円+税	
	眼科検査法ハンドブック第4版	小口芳久 他	医学書院	23,100円+税	
参考書					
その他の資料	適宜、プリントを配布する。				
【評価方法】 定期試験、実習記録ノート、授業態度、提出物を総合して評価する。			【履修上の留意点】 班別を実施するため別途予定表を配布する。		